



小中学生初の連携で
飛馬りんごを都心でアピール

4月10日相馬小学校4年生の児童9名が、自分たちの作ったりんごを中学校の修学旅行先で販売してもらったため、袋詰め作業を当JA本所で行った。袋に児童たちが書いたメッセージカードとりんごを丁寧に詰め、箱詰めを行った。最後にメッセージを込めて記念写真を笑顔で撮った。

4月19日に相馬中学校の3年A組の15名の生徒が修学旅行先の東京都にある「あおもり北彩館東京店」でりんごの試食販売を行った。

「相馬のりんごめーよー」など広告看板を首に下げ一生懸命声をかけをし、開始から45分で完売した。その中でも小学生の作ったりんごは即完売という好評ぶりであった。生徒は達成感に包まれた表情をして終えることが出来た。

今回の初の取組は無事に成功し、販売に携わった中学校の先生は「今年度同じ取組ができるなら、児童と生徒の顔をあわせてコミュニケーションなどを取り、密接に連携を取りながらやっていきたい」と意気込んでいた。



育てたりんごを収穫したぞ！（晩秋）



小学生の作ったりんごにお客様も興味津々



「相馬のりんごめーよー」と大きな声で呼びかけた



メッセージと気持ちを
を込めて袋詰め



中学校の皆さん頑張ってください！



皆さんに喜んでもらい完売することができました